



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 19,476 | △2.0 | △108 | — | △77 | — | △93 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 19,882 | △0.7 | △43 | — | 8 | — | △164 | — |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △122百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △141百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | △4.77 | — |
| 24年3月期第2四半期 | △8.40 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 19,190 | 7,444 | 38.8 | 379.86 |
| 24年3月期 | 20,030 | 7,567 | 37.8 | 386.08 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,444百万円 24年3月期 7,567百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-----|-----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |

(注) 平成25年3月期末の配当につきましては、未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 39,200 | 0.5 | △20 | — | 50 | — | 20 | — | 1.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期2Q | 20,102,000 株 | 24年3月期 | 20,102,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | 504,121 株 | 24年3月期 | 501,880 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期2Q | 19,599,013 株 | 24年3月期2Q | 19,604,139 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) セグメント情報等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により一部に緩やかな回復が見られたものの、長引く欧州の債務問題や中国経済の成長鈍化など、海外経済の減速感が強まるなか、長期化する円高の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、①IT技術を駆使して効率化を推進するとともに、量から質へ、売上指向から利益指向への転換を進め、高付加価値低コスト経営の会社に変革すること、②自社品を拡充し、メーカーポジションを確立すること、③効率的・機能的流通業態「FIMA（流通統合管理機構）」を確立することを基本方針とし、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,476百万円（前年同期比2.0%減）、営業損失は108百万円（前年同期は営業損失43百万円）、経常損失は77百万円（前年同期は経常利益8百万円）、四半期純損失は93百万円（前年同期は四半期純損失164百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、7月に開催されたロンドンオリンピックでの日本代表選手の活躍等もあり、盛り上がりを見せたものの、個人消費の回復には至らず、デフレ環境下での販売競争は一段と激化し、厳しい経営環境が続いております。このような状況の中で、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、サッカー用品、バスケットボール用品、卓球用品、ランニングブームによるスポーツシューズの販売が引き続き堅調に推移したものの、野球・ソフト用品や競技ウェアは低調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、天候不順等の影響があったものの、スポーツアパレル、フットウェア、アウトドア用品は堅調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、消費者の健康志向は引き続き高いものの、競合商品とのより一層の販売競争激化により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は18,029百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

(製造部門)

製造部門は、商品企画、開発力、品質管理を強化し、メーカーポジションの確立に努めたものの、野球・ソフト用品は卸売部門と同様に苦戦を強いられました。バスケットボール用品は、「コンバース」ブランドの昇華プリントのゲームウェアや機能ソックスが引き続き堅調に推移したものの、スポーツバッグはヒット商品不在により低調に推移いたしました。

この結果、売上高は302百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

(小売部門)

小売部門は、個人消費の低迷やトレンドの変化に加え、消費者の購買スタイルの多様化により、アパレル・フットウェアは苦戦を強いられました。アウトドア市場は、「山ガール」と呼ばれる20代～30代の女性層は確実に増加傾向にあり、引き続き登山人気も高く拡大基調で推移いたしました。前年の震災特需の反動や高額商品の販売が低調に推移したこと等により、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は396百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

(その他)

物流部門は、外部の受託業務を拡大し、作業効率の改善に努め、小口多頻度出荷や流通加工の増加によるコストアップをカバーし、堅調に推移いたしました。スポーツ施設運営は、会員満足度を高めるための販売促進活動を強化したことによる会員増加があったものの、シニア世代のゴルフ離れや天候不順によるゴルフ練習場への来場者の低迷等により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は748百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ839百万円減少し、19,190百万円となりました。これは主に、現金及び預金が144百万円、商品及び製品が116百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が984百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ717百万円減少し、11,746百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が253百万円、短期借入金が79百万円、長期借入金172百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ122百万円減少し、7,444百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が93百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの実績と今後の動向等を踏まえ、平成24年5月16日に公表いたしました連結業績予想を変更いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成24年11月8日)公表の「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,197 | 2,341 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,040 | 8,055 |
| 商品及び製品 | 2,737 | 2,854 |
| 仕掛品 | 57 | 63 |
| 原材料及び貯蔵品 | 80 | 73 |
| 繰延税金資産 | 98 | 93 |
| その他 | 163 | 185 |
| 貸倒引当金 | △22 | △17 |
| 流動資産合計 | 14,354 | 13,649 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,216 | 4,157 |
| 減価償却累計額 | △2,875 | △2,849 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,341 | 1,307 |
| 土地 | 2,443 | 2,443 |
| その他 | 1,333 | 1,319 |
| 減価償却累計額 | △1,065 | △1,107 |
| その他（純額） | 268 | 212 |
| 有形固定資産合計 | 4,053 | 3,963 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 56 | 60 |
| 無形固定資産合計 | 56 | 60 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 812 | 771 |
| 長期貸付金 | 54 | 51 |
| 敷金 | 323 | 310 |
| その他 | 477 | 494 |
| 貸倒引当金 | △101 | △110 |
| 投資その他の資産合計 | 1,567 | 1,516 |
| 固定資産合計 | 5,676 | 5,541 |
| 資産合計 | 20,030 | 19,190 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,255 | 8,002 |
| 短期借入金 | 1,150 | 1,071 |
| 未払法人税等 | 27 | 18 |
| 未払消費税等 | 78 | 44 |
| 賞与引当金 | 186 | 212 |
| その他 | 674 | 510 |
| 流動負債合計 | 10,373 | 9,860 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 421 | 248 |
| 繰延税金負債 | 144 | 130 |
| 退職給付引当金 | 322 | 331 |
| 長期未払金 | 321 | 312 |
| その他 | 879 | 862 |
| 固定負債合計 | 2,089 | 1,886 |
| 負債合計 | 12,463 | 11,746 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,005 | 1,005 |
| 資本剰余金 | 2,968 | 2,968 |
| 利益剰余金 | 3,397 | 3,304 |
| 自己株式 | △71 | △71 |
| 株主資本合計 | 7,300 | 7,206 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 268 | 237 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 267 | 237 |
| 少数株主持分 | — | — |
| 純資産合計 | 7,567 | 7,444 |
| 負債純資産合計 | 20,030 | 19,190 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 19,882 | 19,476 |
| 売上原価 | 15,722 | 15,475 |
| 売上総利益 | 4,159 | 4,000 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 383 | 347 |
| 運賃及び荷造費 | 325 | 321 |
| 賃借料 | 191 | 176 |
| 役員報酬及び給料手当 | 1,445 | 1,413 |
| 貸倒引当金繰入額 | 5 | 8 |
| 賞与引当金繰入額 | 228 | 201 |
| 減価償却費 | 89 | 96 |
| その他 | 1,534 | 1,544 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,202 | 4,108 |
| 営業損失(△) | △43 | △108 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 1 |
| 受取配当金 | 11 | 12 |
| 受取賃貸料 | 10 | 9 |
| 業務受託料 | 8 | 10 |
| その他 | 47 | 25 |
| 営業外収益合計 | 79 | 58 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 売上割引 | 18 | 17 |
| その他 | 1 | 3 |
| 営業外費用合計 | 26 | 28 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 8 | △77 |
| 特別損失 | | |
| 品質保証対応損失 | 50 | — |
| 特別損失合計 | 50 | — |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △41 | △77 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10 | 10 |
| 法人税等調整額 | 112 | 4 |
| 法人税等合計 | 123 | 15 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △164 | △93 |
| 少数株主利益 | — | — |
| 四半期純損失(△) | △164 | △93 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △164 | △93 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21 | △30 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 2 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 23 | △29 |
| 四半期包括利益 | △141 | △122 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △141 | △122 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △41 | △77 |
| 減価償却費 | 96 | 104 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 5 | 5 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △17 | 25 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 0 | 9 |
| 受取利息及び受取配当金 | △12 | △13 |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 212 | 984 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 247 | △114 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 418 | △253 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 57 | △34 |
| その他 | △176 | △197 |
| 小計 | 797 | 447 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12 | 13 |
| 利息の支払額 | △7 | △7 |
| 事業構造改善費用の支払額 | △184 | — |
| 法人税等の支払額 | △1 | △19 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 616 | 433 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △17 | △10 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3 | △3 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 9 | 5 |
| 長期貸付けによる支出 | △7 | △2 |
| その他 | △0 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △18 | △10 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △100 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △224 | △251 |
| 配当金の支払額 | △0 | △0 |
| その他 | △25 | △29 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △350 | △281 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2 | 2 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 249 | 144 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,565 | 2,197 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,815 | 2,341 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。